

編集後記

2年間、編集委員会のメンバーに加えていただき誠にありがとうございました。委員長をはじめ委員の先生方、事務局の皆様には多大なるご配慮とお力添えを賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

任期中、所属研究所の体制が一新されました。自分の研究へのモチベーションや姿勢を改めて見つめ直すとともに、日本の核融合研究にどのように貢献できるのかということ強く意識する2年間でした。同時に異分野への応用・融合についても検討する機会が増えまして、学会誌の内容は異分野融合をテーマにした内容で提案させていただきました。ご多忙中、企画記事の執筆を快諾くださった先生方に、この場を借りてお礼申し上げます。

私の故郷は岐阜県の飛騨高山になります。春・秋に開催される高山祭が有名で、その起源は1652年までさかのぼります。この高山祭りでは飛騨の匠と呼ばれる職人が

作った屋台によるからくり奉納が行われます。宵祭では提灯を灯した屋台が高山の夜の街を巡ります。ぜひ機会があれば高山の祭りを見に来ていただければと思います！

実はこの高山祭も後継者不足の影響を強く受けておりまして、屋台修繕の職人さんだけでなく、地域の子どもたちが参加する「獅子舞」や、「闘鶏楽」も担い手探しに苦労しているようです。特にコロナ渦で祭りが開催できなかったのも担い手離れに拍車をかけているようで、参加可能地域を拡張するなどの対策をしているようです。伝統を守るためにどこまで改新するか、悩ましい問題です。ただ、飛騨の人たちも諦めずに様々な試みをされているようでその姿勢には励まされます。私も飛騨の人たちを見習って、核融合研究とそのコミュニティの発展に貢献できるよう色々とチャレンジしていきたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。（矢嶋美幸）

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	安藤 晃			
副 会 長	上田良夫	花田磨砂也（男女共同参画委員長）		
常務理事	市口勝治（総務委員長）			
理 事	渥美寿雄（企画展示検討委員長）	出射 浩（編集委員長、支部・地区研究連絡会委員長）		
	井 通暁	大勢持光一（財務委員長）	大原 渡（企画委員長）	金子俊郎（年会運営委員長）
	村上 泉（推薦委員長：研究助成）		横峯健彦（推薦委員長：学会賞）	
	居田克巳（研究部会委員長）		兒玉了祐（広報委員長）	白藤 立
	仙波智行	田中康規	林 伸彦	藤田隆明
監 事	前田達志	立松芳典		

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 井 通暁(東大) 応 用 白藤 立(大阪公立大) 核融合プラズマ 林 伸彦(量研) 核融合炉工学 上田良夫(阪大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：出射 浩（九大） 副委員長：村上 泉（核融合研）
エディタ：稲垣 滋（京大）、古閑一憲（九大）、重森啓介（阪大）、高橋裕己（核融合研）、石澤明宏（京大）、大矢恭久（静岡大）
編集委員：伊神弘恵（核融合研）、池田善久（愛媛大）、市原大輔（名大）、宇藤裕康（量研）、岡本征晃（石川高専）、大宅 諒（九大）、恩地拓己（九大）、勝川行雄（国立天文台）、川手朋子（核融合研）、川面洋平（東北大）、小島完興（量研）、小林達哉（核融合研）、佐々木渉太（東北大）、佐野孝好（阪大レーザー研）、神藤勝啓（原子力機構）、關 良輔（核融合研）、高橋宏幸（東北大）、竹崎太智（富山大）、田中 学（九大）、富田健太郎（北海道大）、中村 誠、中野治久（核融合研）、針谷 達（豊橋技科大）、皇甫度均（筑波大）、福本正勝（量研）、古川武留（神戸大）、森田大樹（宇都宮大）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第99巻第7号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2023年（令和5年）7月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <https://www.jspf.or.jp/> 定価1,430円（本体1,300円）

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。